

新製品 After Effects 用 プラグイン『PSOFT Pencil+ 4 Line』を発売

© 2018-05-28



for After Effects®

株式会社ピー・ソフトハウス（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：畠山慶輝）は、After Effects 内で Pencil+ 4 ラインの編集を可能にするエフェクトプラグイン「[PSOFT Pencil+ 4 Line for After Effects](#)」を 2018 年 5 月 28 日から発売します。

Pencil+ 4 Line for After Effects とは



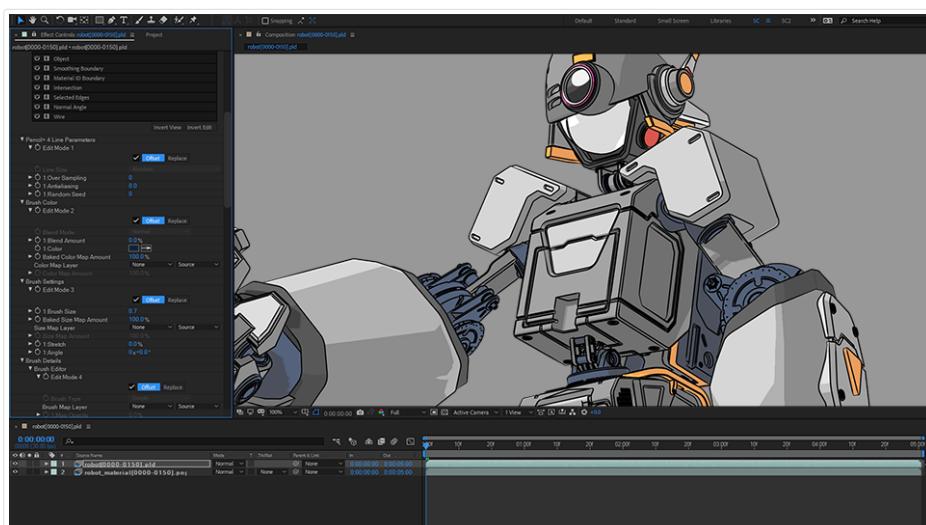
ペンシルプラス
PSOFT Pencil+ 4 Line for After Effects は、Pencil+ 4^{※1} から出力したライン情報を After Effects 内で編集可能にするエフェクトプラグインです。

これまでの作業工程では、ラインの設定を変える度に 3D ソフトで再レンダリングが必要でした
が、Pencil+ 4 Line for After Effects を使用することで After Effects でラインを直接編集するこ
とが可能となり、3D ソフトでのレンダリング作業を最小限に抑えることができます。

また、3D ソフト上では調整に手間の掛かるパラメータのアニメーションや、カットごとに色やライ
ンの太さを変えることも容易となるため、コンポジット工程においてより品質の高い絵作りが可能と
なります。

※1 多数のアニメ作品に採用実績のある 3D ソフト向け ノンフォト リアリストイック レンダリング プラグイン「PSOFT Pencil+ 4 for 3ds Max」

主な特長



- 3D ソフト向けの Pencil+ 4 ラインと同様のパラメータを使用してラインを編集することができます。
- 全てのラインセット、または任意のラインセットを編集することができます。

- 3D ソフトで設定したラインを微調整する Offset モードと、After Effects 内で新規にラインの再設定を行う Replace モードを搭載しています。
- Screen Effect を使用することで、カメラスクリーンでラインの太さや不透明度を直感的に編集できます。
- Rendering Scale を使用することで、画像を劣化させることなくラインを拡大縮小することができます。
- Map Layer を使用することで 3D ソフトではできなかった表現が可能になります。
- Z Depth を使用することでラインの深度を描画できます。
- 3D レイヤーを Refer Object として使用する事ができます。

動作環境

対応ソフトウェア

Windows 版 Adobe After Effects CS6 / CC ~ CC 2018

ハードウェア

Adobe After Effects 各バージョンの動作環境に準拠

補足

Pencil+ 4 Line for After Effects を使用するためには PLD ファイルが必要です。

PLD ファイルは Pencil+ 4 for 3ds Max Ver.4.1 以上から出力できます。

製品価格

スタンダードアロン ライセンス	(税込 / 円)
ダウンロード版	22,680 円
パッケージ版	26,568 円

ネットワーク ライセンス	(税込 / 円)
パッケージ版	36,720 円

詳細は PSOFT ストアをご覧ください。

<https://www.psoft.co.jp/jp/store/>

体験版について

<https://www.psoft.co.jp/jp/download/pencil-line-ae/>

関連リンク

PSOFT ウェブサイト

<https://www.psoft.co.jp/jp/>

関連資料

製品概要「PSOFT Pencil+ 4 Line for After Effects」

<https://www.psoft.co.jp/jp/product/pencil/ae/>

お問い合わせ

株式会社ピー・ソフトハウス <https://www.psoft.co.jp/>

製品についてのお問い合わせは下記専用フォームからお願いします。

お問い合わせ窓口 <https://www.psoft.co.jp/jp/contact/>